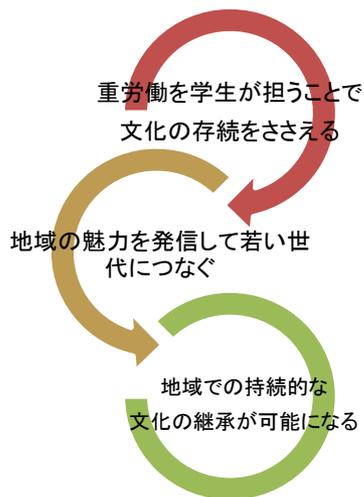


「ささえる・つなぐ 静原伝統「しめ縄もち米づくり」 2020

静原応援隊

今を「ささえ」未来に「つなぐ」



静原神社のご神木にかかるしめ縄は、地域の藁を使ってつくられています。年末に地域みんなで作った新しいしめ縄をかけて、新年を迎える準備をする、そんな古くからの文化がずっと引き継がれてきました。しかし、近年の少子化で田んぼの世話と藁の手収穫という重労働が高齢者の負担となり、他地域の藁をもらい受けてしめ縄を作ることが検討されていました。私たち静原応援隊は、静原地域の素晴らしいしめ縄文化がずっと続いてほしいと考え、2019年からしめ縄用のもち米栽培としめ縄の藁の下作業を担っています。今年も田植えや稲刈り、雑草の駆除など、地域のみなさんに教えてもらいながら田んぼの作業に取り組み、約200束の藁と300kgのもち米を収穫しました。

学部学年を超えた25名の京都産業大学の学生有志が参加する静原応援隊の活動は、今年学生と高齢者の協働という最も難しい課題に直面しましたが、社会人メンバーとの複合団体であることと、活動場所が野外の畑という利点を生かして、学生の自粛期間も活動を止めず、ソーシャルディスタンスを保ちながら活動を行うことができました。

また、年末にはしめ縄もち米を使った「しめなわドーナツ」を発売。新聞にも2度取り上げられ、静原やしめ縄もち米づくりのことを全国に知ってもらうことができました。今後は、地域文化を未来へつなぐ橋渡し役として、地域の若い世代を巻き込んで一緒に活動することを目指します。



2020年5月30日読売新聞



農業体験会

静原の現状と課題を知ってもらうために

2020年5月17日 田植え

コロナ自粛期間で学生が来れない中、地域の方と社会人メンバーとで田植えを行いました。コロナ渦ということで、学生と一般の参加者は代表1名ずつの参加とし、少し寂しいスタートとなりましたが、苗箱20枚分を無事植えました。



2020年9月8日 稲刈り

学生がほぼ来れない中、地域の方が率先して動いて下さり、しめ縄のための藁200束と約300Kgのもち米を収穫しました。事情を知った一般の方も手伝いに駆け付けて下さり、心温まる1日でした。



2020年9月10日 脱穀

ウンカの被害をさけるため、少し早めに稲刈りしたため、もち米は水分が多く、乾燥には手間と時間がかかりました。ようやく脱穀した玄米を入れた重い袋を運びながら、ようやくもち米が採れた実感がわきました。



2020年11月9日 翌年の準備

もち米づくりを継続するためには、この時期に来年の準備が必要です。来年のもち米づくりのため、土ならしと肥料撒きを行いました。



野菜作り教室

休耕地の有効活用と地域環境保持のために

5月24日 夏野菜づくり教室
9月20日 冬野菜づくり教室
11月1日 タマネギ栽培教室
3月 7日 ジャがいも栽培教室

*一般募集から、のべ34人の参加者がありました

休耕地増加という課題への取り組みとして、開墾して農地に戻した畑を使った「野菜づくり教室」を4回開催しました。植え付けた農地の除草や保持を参加者が行うため、継続的に農地が保たれます。教室の指導役は農業に詳しい地域のお年寄りをお願いしました。



ワークショップと交流会

「しめ縄もち米づくり」の発信と交流人口を増やすために

2020年12月13日
しめ縄づくりワークショップ

御年91歳のしめ縄に詳しい地域の方を先生に迎え、野外でのワークショップを行いました。コロナのせいで、学生、地域の方、一般参加者合計13名と少ない人数でしたが、和気あいあいムードで楽しくしめ縄づくりを教えてくださいました。



2020年12月18日
お餅つき交流会

収穫したしめ縄もち米を試食する交流会を開催。コロナ禍を配慮して、地域の方がついたお餅を地域に配るだけにすることになりました。大勢で集まることはできませんでしたが、1軒1軒おもちを配りに地域を回ったことで、日ごろ交流のない方とも話す機会ができました。



「しめなわドーナツ」の発売

「しめ縄もち米づくり」を具現化して、多くの人に知ってもらうために

商品開発

副産物として採れたもち米を利用した商品開発を2019年から始めました。お餅にあまり馴染みのない若い年齢層にも好まれ、全国に届けられる賞味期限の長い「焼き菓子」にターゲットを絞りました。京都西京区桂の菓子店「パテスリーゼロ」の桐生陽介オーナーパティシエと数回の打ち合わせ、試作、試食を繰り返し、パッケージや味などに、地域の方の意見も取り入れました。



販売開始

2020年12月に発売を開始。京都産業大学の通販サイトや大学売店、パテスリーゼロ、アップスコーヒーなど協力企業さんの店舗でも販売しました。美味しいと好評でも販売から現時点までに600個が売れました。京都以外からも通販で32件のご注文を頂きました。



2021年1月5日京都新聞

商品紹介新聞掲載

しめなわドーナツや静原応援隊の活動を紹介した記事が京都新聞と日経新聞に掲載され、多くの方に静原を知ってもらえました。掲載後は全国から多くのネット注文がありました。



2021年3月10日日本経済新聞